

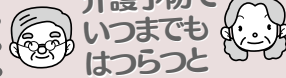
「警察協力章」受賞



秩父地区
地域安全推進連絡協議会長
島田 憲一氏(宮側町)

地域包括 支援センター だより

介護予防で
いつまでも
はつらつと



秩父地域包括支援センター
☎22-2582

9月21日は、
世界アルツハイマーデーです！

1994年、「国際アルツハイマー病協会」は世界保健機関と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」、また、9月を「世界アルツハイマー月間」と制定し、認知症について理解を深める活動を実施しています。



どうして21日なの？

1994年9月21日、スコットランドで第10回国際アルツハイマー病協会国際会議が開催され、会議の初日であるこの日を「世界アルツハイマーデー」と宣言しました。アルツハイマー病などに関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらすことを目的としています。

市でも、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、認知症サポーターの養成や、オレンジカフェなどの取り組みを行っています。

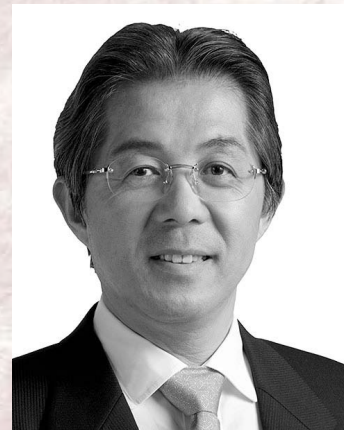
認知症のお悩みを「相談ください」

「最近、近所の高齢者が閉じこもり気味で心配だ」、「家族に認知症の症状があるけれど、どうしたら良いかわからない」など、お困りごとはありませんか？

認知症に関するお悩みは、ぜひお近くの地域包括支援センターまでご相談ください。認知症や介護の知識を持った主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などの専門職が、お話を聞きします。

そのほかにも、毎日の生活の中で不安なこと、相談したいことがあります。秩父地域包括支援センター、吉田地域包括支援センター(☎77-1134)、大滝・荒川地域包括支援センター(☎53-11014)までお気軽にご連絡ください。

市長 コラム



ICT活用教育の推進

秩父市長 北堀 篤

最初に、本市の発展に多大なる功績をあげられた松澤一雄市議会議員がお亡くなりになりました。

誠に残念であり、衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、安らかなる御冥福をお祈りいたします。

さて、子どもたちは、コロナ禍でさまざまな制約があった中でも、夏休みならではの挑戦や体験をしたことで、よりたくましく成長したのではないのでしょうか。

しかし、市内での感染拡大を受け、小・中学校では臨時休業となつたこと、厳しい状況にありますが、コロナ対策を行い、教育活動を進めます。

新型コロナウイルス感染症による全国的な臨時休校措置を契機に、

オンラインによる授業の必要性が全国で急速に高まりました。この状況を踏まえ、ICT(情報通信技術)環境の充実により、これからの社会を生きる子どもたちへ、必要な資質・能力を育成する「GIGAスクール構想」の動きが加速し、授業や学校教育活動の在り方が大きく変化しています。

市でも、子どもたちの学びを止めないよう、オンラインによる「学習支援」や「学校・家庭間の交流」、「教職員の研修会」など、さまざまな取り組みを進めてきました。現在では、1人1台の学習用端末や通信ネットワークの整備がすでに完了しており、今年4月からは小・中学校の授業などでの活用が本格化しています。

また、教育委員会が中心となり全教職員のICT活用力向上や、各学校の教育活動でのICTのさらなる活用・充実を図るための支援を進めています。

今後は、学習用端末を活用した学校・家庭・関係機関との連携や子どもたちの教育的ニーズに合った教育方法の研究などを行い、優れた才能や個性を伸ばす教育を進め、グローバル社会や超スマート社会に対応したICT教育の充実に取り組みます。

子どもは「ちちぶの宝」の考え方のもと、学校・家庭における教育を全面的に支援します。